

建築計画・施設設計における基本方針について

香北地域らしい保育を提供する新園舎の施設整備を目指し、香北地域の財産である「自然」「地域の文化」「子育て力」の活用を踏まえて次の点を基本方針として計画を検討します。

- (1) 充実した保育を提供できる施設
 - ・職員、園児、送迎する保護者等のスムーズな動線が確保された施設とします。
 - ・子どもたちの興味や関心に合わせて、物の出し入れを毎日できるような収納スペースを確保し、保育をスムーズに提供できる施設とします。
 - ・保育における多様なニーズの変化に対応できる柔軟性を持った施設とします。

- (2) 子どもにとって魅力のある施設
 - ・子どもたちがワクワクし、探究心を育むことができる施設とします。
 - ・異年齢の子どもたちが一緒に遊びながら、育ちあうことができる施設とします。
 - ・発達過程に配慮し、子どもがともに育ちあえる施設とします。

- (3) 安全で安心して利用できる施設
 - ・見通しが良く、死角の少ない施設とします。
 - ~~・子どもたちがヒヤリハット体験を豊かに積み重ねられる施設とします。~~
 - ・子どもたちの身体能力や、危険予測能力が育まれるような体験を、豊かに積み重ねられる施設とします。
 - ・食育の推進やアレルギー対策など、衛生・健康に配慮した施設とします。
 - ・地震や火災など、災害時の安全性を確保した施設とします。

- (4) 地域がよってたかって子どもを育む施設
 - ~~・「地域の文化」を活かし、文化施設やコミュニティ等と交流を行い、家庭・地域に愛され、地域を愛する子どもを育む施設とします。~~
 - ・「地域の文化」を活かし、文化施設やコミュニティ等と交流を行う開かれた保育園を目指し、家庭・地域に愛され、地域を愛する子どもを育む施設とします。
 - ~~・大宮小学校や香北中学校と連携し、国際バカロレア（IB）教育への橋渡しとなる施設とします。~~
 - ・国際バカロレア（IB）教育を推進する大宮小学校や香北中学校への橋渡しとなるよう、地域と連携して、豊かな探求心を育むことができる施設とします。

- (5) 「子育て力」を育む拠点となる施設
 - 子育てに係る多様なニーズに応え、「子育て力」を育む施設とします。
 - 未就学児の子どもをもつ家庭と地域をつなぐ、架け橋となる施設とします。

- (6) 豊かな「自然」を活かした施設
 - 園内にも豊かな「自然」環境を取入れ、さまざまな遊びができる施設とします。
 - 森林資源を活かし、木の温もりが感じられる施設とします。

- (7) コスト縮減や維持管理に配慮した長寿命な施設
 - 地域産材等を活かしつつ、整備コストの抑制を図った施設とします。
 - 日々のメンテナンスを考慮し、維持管理しやすい施設とします。
 - 長く使用できる長寿命な施設とします。